

令和6年4月2日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科長
〔公印省略〕

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

1. 職名・募集人員

准教授または助教 1名

2. 勤務形態

常勤（任期なし）

3. 所属

共生環境学専攻・地球環境学講座・気象・気候ダイナミクス教育研究分野

4. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

気候は、大気・海洋・植生・水圏・生態圏、人間・動物の活動などのサブシステムから成る「地球システム」において、様々な気候サブシステムが複雑に絡み合った系の平均的な状態と考えられる。

地球環境学講座では、近年喫緊の課題となっている「気候変動・気候変化」のメカニズム理解から適応策策定までを、主なミッションとして教育研究を行っている。その中で、今回教員公募を行う気象・気候ダイナミクス教育研究分野では、広い意味での気象学・気候学に焦点をあて、大気の状態を理解することを中心課題として教育や研究を行っている。当該分野の目標は、「地球規模での気候異変や異常な気象が『なぜ？』起きているのか。この『なぜ？』に対する完全な答えを人類はまだ得ていない。それを、気象学をベースとして解明すること」ということになる。

なお、本公募によって採用する教員には、気象解析予測学教育研究分野とも密接な関係をもって教育研究にあたっていただくことを想定している。

5. 担当予定授業科目

（学部）将来気候予測論，グローバル気象学，陸海空・環境科学実習，大気海洋循環学，地球環境学セミナーI（同II），卒業研究 など

（大学院博士前期課程）気象・気候ダイナミクス特論，気象・気候ダイナミクス演習，地球環境学特別研究 I（同II） など

（大学院博士後期課程）海洋環境学 など

6. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有し、博士前期・後期課程の学生の指導に熱意を持って取り組めること。
- (2) 気象学・気候学に関する優れた研究実績を有すること。細分化された分野については問わない。
- (3) 教養課程で教える程度の数学と物理学の講義ができること。
- (4) 気象に関わる自然災害科学や防災に関心があること。地方気象台等との連携事業に積極的に取り組めること。

三重大学では、多様な人材の積極的な応募を歓迎している。

※本学では、「三重大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」(令和4年12月27日)を行い、学内保育園や研究補助員配置など研究教育環境の整備やワーク・ライフ・バランス支援の取り組みを積極的に推進している。詳しくは下記の URL を参照のこと。(<https://www.mie-u.ac.jp/danjo/wlb/>)

7. 応募書類 (いずれも PDF ファイルで提出すること)

下記の(1)～(11)の情報を提出のこと。別々の11個の電子ファイルを作成するのが標準であるが、すべての情報が提出されれば、それにはこだわらない。

- (1) 履歴書(写真貼付)※本学指定の様式に限る。
- (2) 業績目録(原著論文, 著書, 総説, その他について, 項目ごとに分けて発表時期の新しいものから順に並べ番号を付すこと)。原著論文については, 自らの貢献度や実際に担当した部分について説明する文章(各200字程度)を添えること。
- (3) 上記業績目録に掲載した論文の別刷等(代表的なもの10編以内)
- (4) 研究費獲得実績, プロジェクト参加実績一覧
- (5) 教育実績一覧
- (6) 社会連携に関する実績一覧
- (7) 管理運営に関する実績一覧
- (8) これまでの教育研究活動に関する概要(1000字程度)。文章中で, (2)の業績目録中の原著論文の文献整理番号を引用すること。
- (9) 着任後の教育研究活動に関する抱負(1000字程度)。特に学部学生に対する教育における自らの取り組みについて記述すること。
- (10) 応募者の連絡先(住所, 電話番号, 電子メールアドレス)
- (11) 応募者についての照会先(2名:氏名, 所属, 役職, 電話番号, 電子メールアドレスなど)

8. 応募期間 令和6年4月2日(火)～令和6年5月31日(金)

9. 選考方法

選考は, おもに書類審査によるが, 選考過程で面接等(模擬授業を含む)を行う場合がある。その場合の旅費は, 自己負担となることを了承されたい。

1 0. 着任時期

令和6年9月以降のできるだけ早い時期。

1 1. その他

給与は三重大学年俸制適用教員給与規程による年俸制とし、年俸額は採用候補者の経歴などを勘案して決定される。

※本学では、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性研究者の積極的な応募を歓迎している。選考に際して、「ジェンダー平等」的な審査をするが、本公募が、「男女雇用機会均等法第8条（女性労働者に係る処置に関する特例）の規定により、業績（研究、教育、社会貢献等）及び人物の評価において、厳密に同点と認められる場合には、女性を優先的に評価する」という大学の方針の範囲内にあることを付記しておくものである。

1 2. 応募書類提出要領

応募書類を電子データで提出すること。応募希望の方には提出用 URL を連絡するので、下記メールアドレスに5月29日（水）までに連絡のこと。なお、メールの件名には「地球環境学講座・公募書類提出用 URL 希望」と記載すること。なお、複数の PDF ファイルから作られた zip ファイル等のアーカイブを提出することを、標準的な方法として想定しているが、方法は問わない。

三重大学 大学院生物資源学研究科 共生環境学専攻
専攻長・教授・渡辺晋生
E-mail: kunio@bio.mie-u.ac.jp

1 3. 問い合わせ先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577
三重大学 大学院生物資源学研究科 共生環境学専攻 地球環境学講座
教授・立花義裕（本件担当教授）
TEL : 059-232-1211（三重大学代表）
E-mail: tachi@bio.mie-u.ac.jp

1 4. 参考

地球環境学講座教員一覧（令和6年4月1日現在）

教育研究分野	教授	准教授	助教
気象・気候ダイナミクス	立花 義裕	本公募（准教授 または助教）	本公募（准教授ま たは助教）
気象解析予測学		西井 和晃	
海洋気候学		山田 二久次	
未来海洋予測学		万田 敦昌	

フューチャー・アース学	現在欠員中		
地球システム進化学	坂本 竜彦		
水環境・自然災害科学	葛葉 泰久		
環境解析学	現在欠員中		

生物資源学研究科のホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp>

気象・気候ダイナミクス教育研究分野のホームページ

<https://atm.bio.mie-u.ac.jp/>

以上